

「強い日本を」の風潮 なぜ 「不安」が導くナショナリズム

教育基本法を改正し、「国を愛する心」を理念に掲げようといつ動きの本格化。北朝鮮問題などを背景に「強い日本」を求める世論――。「ナショナリズム」をめぐる最近の風潮には、閉塞感のはけ口を強い国家に求めようとしている日本人の姿が垣間見えるのではないか。共著「*〈癪〉のナショナリズム*」で「草の根保守運動」の実証研究を行った、小熊英一・塵大助教授に聞いた。(高橋純子)

(高橋純子)

叫ぶ団体もいる。そして
何人かの都議はじつと石
原氏が出てくるのを待つ
ていて、報道陣のカメラ
に一緒に収まっている……
。追悼も興味も、政治
的な打算も入り交じって
いる。まさにナショナリ
ズムの縮図だと感じまし
た」

——共著「*癪*」の
ナショナリズムの「癪
し」とはどういう意味で
すか。

「景気の停滞で、未来
像が描けない。『中流崩
壊』とか『学力崩壊』と
か、『崩壊』を冠した議
論が近年注目された背景
には、日本社会が変容を
迫られているのに、展望
が見えないことへの不
安があると思います。以
前の保守政権の路線は
景気低迷で立ち行かなか
いのに、冷戦終結のあ
とは明確な社会変革の理
念も語りにくくなっています

■90年以降の「ナショナリズム」をめぐる動き■	
1990年1月	本島等・長崎市長が天皇の戦争責任発言をめぐって右翼に銃撃される
94年7月	社会党出身の村山富市首相が、日米安保体制の堅持と自衛隊容認を表明
96年7月	橋本龍太郎首相が靖国神社を参拝。首相の参拝は85年の中曾根康弘首相以来11年ぶり
97年1月	「新しい歴史教科書をつくる会」発足
99年5月	周辺事態法など新ガイドライン関連3法成立
8月	国旗・国歌法成立
2000年1月	衆参両院に憲法調査会が設置される
5月	森喜朗首相が「日本は天皇を中心とする神の国」と発言
01年4月	「つくる会」の歴史教科書が検定合格
8月	小泉首相が13日に靖国神社を参拝
9月	米国で同時多発テロ発生
10月	テロ対策特別措置法が成立
12月	海上保安庁の巡視船が東シナ海で工作船と銃撃戦
02年4月	小泉首相が靖国神社を参拝
5月	福田官房長官が非核三原則の政策転換の可能性に言及
9月	小泉首相が訪朝。北朝鮮が日本人の拉致を認める
03年1月	小泉首相が靖国神社を参拝
3月	中央教育審議会が教育基本法の改正を文部科学相に答申。「郷土や国を愛する心の涵養（かんよう）」などの理念を新たに規定するよう提言
6月	有事法制3法が国会議員約9割の賛成で成立
7月	イラク復興支援特別措置法が成立
8月	小泉首相が05年11月までに自民党の憲法改正案策定を検討する考えを表明

共同体やモラル求める



おぐま・えいじ 出版社勤務後、東大
大学院博士課程修了。慶大専任講師を経て
00年に現職。今年出版した上野陽子氏との共著「<癒し>のナショナリズム」
で、「新しい歴史教科書をつくる会」の幹部や会員の活動ぶりを調査、分析した。
他の著書に「单一民族神話の起源」「<民主>と<愛國>」など。専門は歴史学・社会学。62年生まれ。

念は持たず

います。しかし『つくる会』の会員には、ただの『自分探し』では情けない、社会的な関心も持つたいという気分もあるようです。両方兼ねると、ナショナリズムへの関心になるのでしょうか。

「しかしナショナリズムといつても、核になる理念がない。ナショナリズムの核として、戦後の進歩派は平和憲法を、保守派は天皇を、それぞれ掲げました。しかし『つくる会』の会員たちは、そのどちらにもアリティーが持てないようで、結果として彼らは、私たち普通の市民

だ。異常なサヨク（左翼）ではない』という排除の形でしか、自画像を描けない。とはいえそうした排除を続けても、その『普通』の中身が何もないのだから、彼ら不安が解消されることはないと思います」

――今後の展開をどうみますか。

「有力な社会運動に発展するほどの組織力があるとはあまり思えません。実は彼ら自身が、非常に個人主義的ですか。ただし、投票行動で雪崩を打つとか、いやがらせメールを大量に送るといった行動に出る可能

——小泉首相が先日打ち出した改憲論も「逃避」ですか。

「作家の島田雅彦さんが言うには、小泉首相の演説は、「決然」とか「主体的に」といった副詞の部分に力が入っていて、誰が何をするのかと、いう主語や述語の部分は不明瞭なのだそうです。具体的な政策ビジョンを示すよりも、社会の雰囲気や漠然とした不確かな言ふべきことをつかむパフォーマンスをする、一種の嗅覚が発達している人だと思いますね。(いまの政治状況で改憲を言うことの効果も、嗅覚としてわかつてゐるのではないか)」

がないからでしょう。地域で具体的な問題に取り組んでいる人なら、「この原発をどうするか」とか「リバの開発計画をどうするか」といった語り方をして、「日本をどうするか」といった語り方にはならない

——旧来の革新側の言葉が力を失い、流通しなくなつたということがあるのでしょつか。

「いつくる会」の人たちはエゴイズムの横行は戦後民主主義のせいだ」といった批判をします。しかし彼らは、本当は戦後の思想も歴史もよく知らない。戦後の進歩派はエゴイズムに批判的だったし、平和主義をナ

ショナルな理念として打ち出していた。むしろ保守派のほうが、理想より経済成長、平和主義よりも対米協調と言いくてきた。その経済成長がエゴイズムをもたらしたとすれば、彼らが批判すべきは保守派のはずでしょ

う」

性はある。石原慎太郎氏が大量得票するといった現象に、それが部分的に現れていると思います」――国会では憲法や外交問題に関して、若手議員の「ネオコノ」(新保守主義)化も指摘されています。